2012年10月1日発行　早 蕨　第474号　毎月1日発行（昭和62年2月21日第三種郵便物認可）

さわらび
ホームページ http://www.sawarabi.or.jp

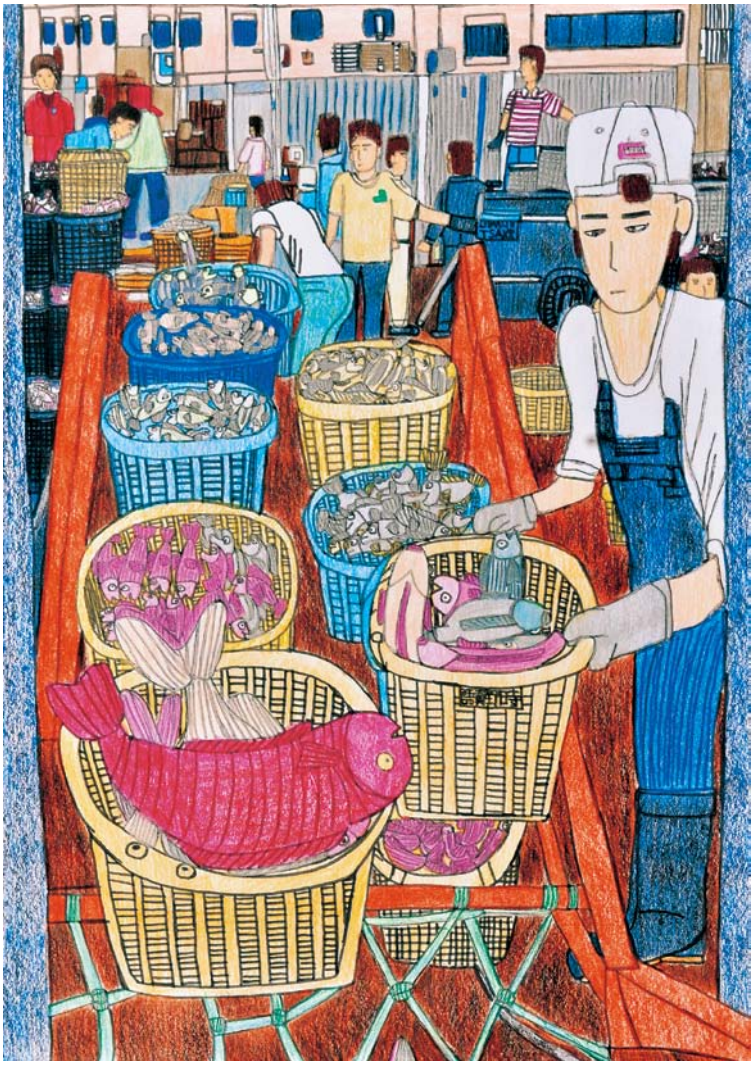
みんなの力でみんなの幸せを

sawarabi さわらび

2 医学講話 疥癬（かいせん）（scabies）について
◆二病棟二階病棟医 皮膚科専門医 斉藤友紀子

6 特集 大規模災害に備えて～さわらび会の取り組み～
◆福祉村病院・院長 小橋　修

2012 10
vol.474



医学講話

二病棟二階病棟医
皮膚科専門医
斉藤　友紀子

疥癬（scabies）について

どこからともなくやってきて、放っておくと病院や施設の中で大発生して、私たちを悩ませる疥癬という皮ふ病。最近は福祉村病院でも、かゆい皮ふ病が流行っていました。

高齢者や体の弱った方の多い病院では、いろいろな病気が感染拡大しやすく、疥癬もその一つと言えます。

図1　ヒトヒゼンダニ
（真鍋俊明、幸田衛著、皮膚病理診断アトラス―組織像の見方と臨床像―）

疥癬の正体は、

ヒトヒゼンダニというダニです。（図1）

このヒトヒゼンダニがヒトの皮ふに住み着いて、赤くなったり、かゆくなったりする皮ふ病を引き起こします。

な～んだ、たかがダニか、と思われますが、よく家などにいるダニは触れるとアレルギーの症状を引き起こしますが、ヒトの皮ふに住み着くことはありません。

この疥癬は、ヒトの皮ふに住み着いて、皮ふの中に産卵して、増えていく点が他のダニとは違います。

図3　手のひら

図2　腹部

疥癬の皮ふ症状は、

赤いボツボツ（丘疹）ができて、かゆく感じます。腹部、わき、腕の内側などやわらかい部位に好発します。（図2、図3）トンネルを作るときもあります。（図4）

図4　手の疥癬トンネル

もう少し詳しく見てみますと、

疥癬の寄生した皮ふの生検検査をしてみます。図5は顕微鏡で40倍に拡大した、皮ふです。

よく見ると、角層の中になにか居ますね。トンネルを掘った疥癬虫のようです。真皮の浅層から深層にかけての

血管周囲に、リンパ球ならびに好酸球が浸潤しています。

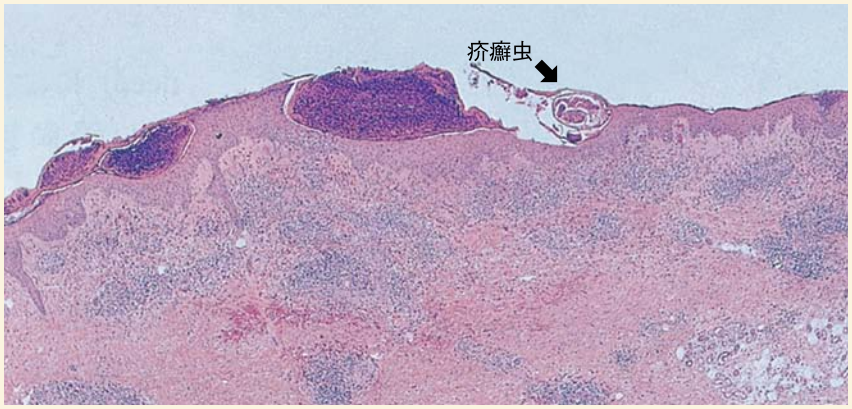


図5　疥癬虫（真鍋俊明、幸田衛著.皮膚病理診断アトラス―組織像の見方と臨床像―）

治療は、

2006年からイベルメクチンの内服が保険適用となりました。イベルメクチンは虫卵に対しては感受性がないとされており、内服後も新生皮疹が認められた場合は、再度イベルメクチンを投与します。

施設の対策が大切です。

集団生活の場では、ヒトからヒトへと接触することにより感染が広がっていきますので、それぞれの施設が自分たちのマニュアルを作り、早期発見とその後の適切な対策をとる必要があります。

介護者も、自分にうつり、それがまた他の患者さんへと広めてしまいますので、正しい知識をもって感染をくい止めなければいけません。

お見舞いや面会に来られた家族の方も同様に、ご家庭に疥癬を持ち帰らないように注意が必要です。

病院の指示をよく聞いて、みんなで協力することが必要になってくると思います。

一般的な、対策マニュアルを参考に載せておきます。

日常生活での注意点（通常疥癬の場合）

長時間、肌と肌を直接接触しないようにしましょう。

短時間の接触では感染の心配は無いといわれています。感染が心配な場合や寝たきりの患者さんを介護する場合には、予防着や手袋を着用してもよいでしょう。

❶介助時

● 長い間、肌と肌が直接ふれないようにしてください

❷就寝時

● 同室で布団を並べて寝ないでください

❸入浴時

● 入浴時にタオルなど肌に直接ふれるものを一緒に使用しないでください

❹接触時

● 患者さんに接した後はきちんと手を洗うようにしてください

研究通信

news of study

Vol. 54

長寿医学研究所　副所長
松山　善次郎

記憶とその障害

認知症の中核症状は、記憶障害を中心とした高次脳機能障害です。

記憶は観点の違いにより多様に分類されます。例えば、保持できる時間により「短期記憶（即時記憶・近時記憶）」や「長期記憶」に分類され、陳述出来るかどうかによって「陳述記憶」や「手続き記憶（非陳述記憶）」に分類されます。さらに、「陳述記憶」は日々の生活の出来事の記憶である「出来事（エピソード）記憶」や意味の記憶（知識）である「意味記憶」に分類されます。また、観点の違いから、「作業記憶」「展望記憶」などの分類もあります。

「出来事（エピソード）記憶」の障害

「出来事記憶」の障害として、健忘症状を中核とする健忘症候群に⑴コルサコフ症候群、⑵純粋健忘症候群（山鳥重 1985）、⑶一過性全健忘などがあります。健忘とは、健常者よりはるかによく忘れるという意味です。

⑴「コルサコフ症候群」は健忘・見当識障害・作話・病識の欠如を呈し、脳血管障害・脳炎・脳腫瘍など種々の原因で来しますが、ビタミン B1 欠乏による「ウェルニッケ脳症」がよく知られています。⑵「純粋健忘症候群」は即時記憶の保存・近時記憶の障害（前向健忘）・遠隔記憶の想起障害（後向健忘）・知的能力の保存を特徴とし、内側側頭葉・間脳・前脳基底部の血管障害などで認められます。「アルツハイマー病」の初期にも認められます。「前向健忘」とは病気になって以降の健忘で、「後向健忘」とは病気になる以前の過去に遡っての健忘です。⑶「一過性全健忘」は「純粋健忘症候群」を引き起こす病態には、一過性の病態が明確でないタイプが知られており、これに該当します。

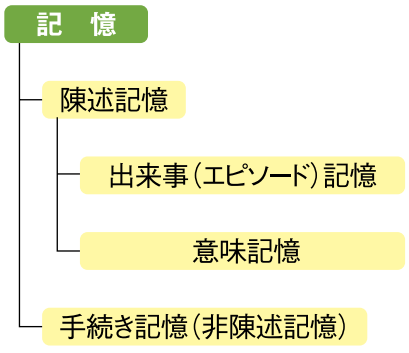
「意味記憶」の障害

「意味記憶」は「陳述記憶」の中で「出来事記憶」と対比して用いられ、連続した生活的出来事の記憶ではなく、言語使用に必要な記憶であり知識であるとされています。例えば、「チューリップ」と言えば赤・黄・白などの色で、ワイングラスの様な流線形をした花を思い浮かべますが、「意味記憶」が障害されれば、このような花のイメージが「チューリップ」という単語に結び付かなくなります。このような知識としての記憶のことで、側頭葉先端の病変にて障害され、「前頭葉側頭葉変性症」の一型である「意味認知症」などにて認められます。

「手続き記憶」の障害

「手続き記憶」は陳述にて再生されませんが、行動にて再生される記憶で、例えば「自転車にうまく乗れるようになる」「パズルを解く速度を上げていく」など、「体で覚える」記憶・技能です。手続き記憶は「出来事記憶」が強く障害されている場合でも、新しく形成できると考えられています。以前は、初期の「パーキンソン病」や「脊髄小脳変性症」患者さんは、身体症状は認めても認知機能の障害は無いと考えられていましたが、「鏡像文字」読み技能の獲得速度を検査したところ、健常者と比し、「視覚性手続き記憶」に障害があることが分かってきました（Yamadori A, et al.1996）。黒質・線条体システムや認知機能に関与する小脳機能の障害によるものと考えられています。その他、「陳述性記憶」の障害を認めない初期の「パーキンソン病」や「ハンチントン舞踏病」患者においても「認知性手続き記憶」の障害を認めるとの報告もあり（Saint-Cyr JA, et al.1988）、「皮質下性痴呆」を理解する上で重要と思われます。

「記憶とその障害」について概略しました。複雑な記憶のメカニズムを少しでも理解し、個々の患者さんの状態を評価し、その認知機能改善に役立ちたいと思っております。



● 記憶の分類（Squire LR.1987）

東海北陸地区 身体障害者施設職員研究大会 分科会での発表

「生活に密着したリハビリについて」

平成24年9月6日、名古屋栄東急インにて東海北陸地区身体障害者施設職員研究大会が行われました。東海北陸地区の身体障害者施設の職員が数多く出席する中で、今回珠藻荘介護士の小長谷智美さんが「生活に密着したリハビリについて」というテーマで発表を行いました。

障害者支援施設珠藻荘　介護士　小長谷 智美

今回の東海北陸地区身体障害者施設職員研究大会にて、私は「生活に密着したリハビリについて」というテーマで発表をさせていただきました。私は平成19年に入社し珠藻荘の介護士として業務にあたってきましたが、新たに平成21年からはリハビリ担当としても携わっております。珠藻荘で毎日取り組んでいるリハビリの大きなテーマは、すでに障害を持ってしまったという状態の中でその障害をどう軽減するか、障害を持ってどう生きるか、どう生活するかという「障害を持った状態での生活を前向きに志向していく」事です。そして、その目標を達成させるためには、直接利用者を支えている介護士との連携がとても重要です。珠藻荘では毎日、私を含めた介護士がリハビリに携わり、その成果を生活の中で実践してきました。その成果のひとつとして、食事の自力摂取をしたいという利用者の目標に向かって支援してきた事例を挙げて今回発表いたしました。

また、この発表の中で、今回のケースや他の利用者のがんばりを目の当たりにして、小さいことの積み重ねで大きな成果につながるという、私がリハビリに携わってきた中で感じた思いも述べさせていただきました。

今回は私にとってはじめての大きな場での発表となったのでとても緊張しましたが、資料準備や会場での意見交換で得た情報などを生かし、利用者にとって「自立した快適な生活」が送れるように今後も支援をしていきたいです。

発表する珠藻荘　小長谷 智美（写真右）

特集
大規模災害に備えて
～さわらび会の取り組み～
巨大地震・津波対策マニュアル（基本方針と心構え）

福祉村病院・院長　小橋　修

福祉村の職員は、自分と家族の安全確保を確認の上、患者および入所者の救済および各施設・設備の機能確保のために、さわらび会の職員としての自覚を持ち、各自の責務遂行に努める。3・11の経験を踏まえて、近未来に発生することが予測されている南海トラフ巨大地震発生時には、数十秒から数分の揺れからまず自分の身を守り、安全を確保したうえで人を助ける。

常に**万が一に備える**リスクマネジメントの心構えと想像力を養っておく必要があり津波が予想される場合には間髪をいれずに**高所に逃げる**ことが原則である。

地震・津波から自分の命を守るだけではなく火災からも身を守らねばならない。巨大地震においては、同時多発火災（地震火災）が15分以内に起こるといわれている。身近に起こった火災に対しては初期消火に努めるが、同時多発火災が必ず起こるので、炎の災害すなわち上空を見て煙が上がっていたら、防災マップに従って間髪をいれず広域避難場所に逃げること。そのために日ごろから訓練をしておくことが大切である。

◆非常招集の発令

1.（臨時）災害対策本部が必要と判断した場合には非常招集を発令する（手順連絡網）

2.（臨時）非常招集が発令されたときは、すべての職員は速やかに出勤する

次の災害時の映像記録を見る時、自分が被災者であることをイメージして見てください。百聞は一見にしかず。想像力を働かせて万一に備える心構えを身に着けてください。（原発放射線被災については、他項を参照ください）

1. 南海トラフ巨大地震はいつ起こるのか?直下型地震はいつ起こるか?
   http://www.youtube.com/watch?v=qMwx2-zaHnw&feature=related
   http://www.youtube.com/watch?v=S_IbXPcqoEg&feature=related
2. 首都直下型地震
   http://www.youtube.com/watch?v=9_dbSOqVAyo&feature=relmfu
   http://www.youtube.com/watch?v=XPkhRPnIBxE&feature=related
3. 直下地震で東京が火災地獄に?
   http://www.youtube.com/watch?v=em_da1BAIR4
4. 過去から学ぶ:3.11東日本大災害における津波をしっかり見てください。
   航空自衛隊 松島基地　隊員による津波到達映像,ヘリからの映像
   http://www.youtube.com/watch?v=-OAQ18aM2AI&feature=related
   http://www.youtube.com/watch?feature=fvwp&v=6UsXw8FSvfc&NR=1
   http://www.youtube.com/watch?feature=fvwp&NR=1&v=qexHgsaqQkc

以下の映像も参考になります。

http://www.youtube.com/watch?v=Run7WrfCgRE&feature=related（14:50）
http://www.youtube.com/watch?v=oArd_9uZOnE&feature=related（1.02.24）

大変よくまとめられ編集されている。ぜひ辛抱して何度も見てください。

生きるための教訓は

1. 大地震・即津波・即高所へ避難
2. 大地震・火災即初期消火・15分以内の同時多発火災を考え即避難

日ごろから、防災マップを見て皆でよく話し合うこと。そのうえで何度も防災訓練をする。老人施設・介護施設では、10分~30分以内に高齢者全員を避難所に安全に隔離できるように年四回は真剣な訓練をすると、歩けない人も歩けるようになると言われている。訓練は昼間だけでなく、夜間や早朝および休日も実施。

家屋の耐震化をし、家具も固定し、類焼には防火林が有用。防災グッズを常備し、避難時の持ち出し袋（防災袋）と消火剤を持って逃げることも推奨されている。

◆通常勤務時間中の災害発生時の原則

1. まず生き残るために身を守る、身の安全を確保する（自助）
2. 身近にいるひとはお互いに救助しあう（共助）
3. 自分とお互いの安全が確保可能となったら、患者・入所者の状況を把握し救助に努める
4. 負傷者の応急処置を行った後に、人的被災状況を確認する
5. 医療設備と建物の被災・損壊状況を確認する
6. 被災・損壊状況を速やかに本部に報告する

（常に火災発生の防止に最新の注意を払う。48時間持ちこたえれば、必ず支援がくることを信じて活動を行う。）

◆勤務時間内発災時の集合場所

1. 大会議室に集合し、災害対策本部の指示を受けて速やかに災害医療を開始する
2. 病院の災害本部は、ジュゲム受付事務室とし、院長、総看護師長、介護士長、事務長は災害発生時ただちに集合する（やむを得ず集合できないときは代理がこれに準ずる。）

全ての従業員の集合場所は、各部署で指定された場所とする

以上は災害発生時の初動および3日間の行動基準である。

◆勤務時間外・休日祭日の災害発生時の職員出勤の基準

1. すべての職員は、震度6以上、ないしは同等以上の災害発生が明らかな場合は、指示がなくとも自主的に速やかに出勤する
2. いずれの場合においても、自分及び家族の安全確保を最優先とする
3. 出勤後の集合場所は、各自の所属部門とする
4. 出勤後、災害対策本部の指示を受けて速やかに災害活動・災害医療活動を開始する

（参考1）「釜石の奇跡」は、地道な防災教育活動から生まれたことを以下の釜石市内で防災教育の指導にあたってきた片田先生の実践と記録から学んでください。（片田敏孝先生の津波防災教育のエッセンス）

1. シンサイミライ学校　http://www.nhk.or.jp/sonae/mirai/remember/index.html
   世界からも注目されている片田先生の防災教育は大変参考になります。
2. 「釜石市津波防災教育」指導の手引　http://edupedia.jp/entries/show/408
   小学生から中学生までの防災教育の詳細が書かれています。
3. 小中学生の生存率99.8%は奇跡ではなかった　http://wedge.ismedia.jp/articles/-/1312

（参考2）片田敏孝先生の津波防災教育のエッセンスの要約（原則）

1. 想定にとらわれるな　最大30mの津波と言うように想定を超えるのが災害
2. その時その場所で最善を尽くせ　一番安全なところを目指して逃げる
3. 率先して避難者になれ　助けを待つのではなく率先して自分の命は自分で守ろう
4. みんなの命を守るためには家族の絆　信頼が大切、お互いを信じて各自が自分の命を守ることに専念する
5. 中学生は、助ける側になれ　助けを必要とする小さい子供や高齢者がいる。犠牲者ゼロにするにはどうしたらいいかを絶えず考えて準備をしておく。そのためには、すべての家族が一人一人、防災マップを書き込み、犠牲者を出さないためにどうすればいいかを考えて準備をしておく。防災マップつくりは家族との会話のチャンスを増やす絶好の機会なので、さわらび会諸施設でも個別に身の廻りの防災マップを各自が作ることによって、個人の意識を高め、かつ実際の時に非常に役立つ訓練シミュレーションとして役立てる。

参考文献

東京都発行の「みんなの防災ガイドブック～日頃からの備えを進めましょう!～」
（重要な防災マニュアル・チェックリスト・資料集を参考にしましょう）

参考図書

1. 超巨大地震に迫る-日本列島で何が起きているのか（NHK出版新書　352）
   大木 聖子、纐纈 一起（新書-2011/6/8）
2. 奇跡災害ボランティア「石巻モデル」
   中原一歩　朝日新書
3. 石巻災害医療の全記録　石井正　講談社
4. 石巻赤十字病院の100日間
   由井りょう子　小学館

（災害に関する基本的知識を整理するのに役立ちます）

大規模災害時における安否確認等の訓練

さわらび会では、災害時に備えて、各施設が分担し準備を行っていることと、それ以外に作業部会を設け、事業所を超えて対策をとっている部会とがあります。その部会の一つが在宅の障がい者や高齢者のみの世帯で、特に地域との関係も弱く、災害時に自主避難の困難な人たちの安否の確認と移送支援を目的にした部会です。作業部会は、さわらび会の在宅の高齢者や障がい者を担当している相談支援、ヘルパー事業、デイサービスなどの職員で構成し、年四回、名簿の確認や支援の方法、問題点の検証などを行っています。今回は実際の動きを、訓練形式で実施しました。

さわらび会災害対策本部からの指令を受けて、地域の被災状況の把握、要支援者台帳の準備と整理、支援地域及び要支援者の優先順位の決定、使用車両の手配、訪問時に持参する物の確認、派遣職員及びボランティアの確保と分担など、それぞれの工程を確認しながら、訓練を実施していきました。

訓練の結果、地域の被災状況や車両等の乗り入れの情報の入手方法、受け入れ可能な当法人の福祉避難所と派遣した職員との連絡方法、要支援者の状況把握や常時使用している薬や衣類、貴重品等の持参すべき物品等の判断、ご家族との連絡手段などが問題として上がってきました。

（石黒）

さわらび会のホームページが新しくなりました

今年度、新たにホームページ委員会を立ち上げ、医療法人・社会福祉法人さわらび会のホームページをさらに充実させ、皆さんにご覧いただきやすいように刷新しました。

これまでのものに加え、福祉村病院の前身である山本病院からの沿革、医師紹介や各施設の業務内容の紹介など、さわらび会の全てを分かっていただける内容となっております。

また、「さわらび誌」のバックナンバーや関連施設の最新情報も掲載をしていますので、是非一度ご覧ください。

今後も多くの方々に、更に充実した情報を提供できるよう、随時更新を行ってまいります。（山中）

県営西口住宅シルバーハウジング

～さわらび地域包括支援センター～

平成二十四年九月より、豊橋市からさわらび会が委託を受けた、県営西口住宅のシルバーハウジング生活援助員派遣を行います。

生活援助員は、シルバーハウジングに入居されている方の安否確認や緊急時における連絡、必要に応じて日常生活の生活支援等を行います。

さわらび地域包括支援センターでは、県営西口住宅にお住いの高齢でお一人暮らしの方や高齢者世帯の方達が安心して生活を送れるように、住宅全体に対して各種介護予防教室の開催や現在、県営金田住宅で行っている、「独居でも安心して生活できる地域づくり推進会議」を進めていきたいと思っております。（勝山）

常盤敬老祝賀会

～地域密着型サービス事業所　常盤～

九月四日常盤での敬老祝賀会は、詩吟クラブをご指導していただいています、安江嬉子先生の朝翠流朝勢吟詠会の皆様をお招きして行われました。詩吟で「宝船」を吟じていただき、踊りの披露やハーモニカ伴奏でご利用者の皆様と一緒に歌を歌うなど、とても盛大な祝賀会となりました。

ご利用者の皆様の昼食には祝い膳を召し上がっていただきまして、楽しい一日を過ごしていただけたと思います。（藤原）

アルパハープ演奏会

～グループホーム　白珠～

八月十日に、アルパハープの演奏会が開催され、お母様が白珠へ入居されています、吉野則子様が演奏してくださいました。「母は、音楽がとても好きです。入居してから、表情がとても豊かになりました。音楽を聞いて皆様と楽しんでいただけたら嬉しいです。」と南米のハープを持参され、パラグアイの民族衣装で演奏してくださいました。ラテン音楽、映画音楽、唱歌など多数の曲を演奏してくださり、入居者様も、手作りのマラカス、手拍子、コーラスなどで演奏に参加されました。

「また、いろいろな楽器を持って来ます。」とご家族様の温かいお心をいただいた演奏会でした。（白井有）

「働く親の姿を見る会」に参加して

～特別養護老人ホーム　さわらび荘～

八月十日、さわらび荘にて「働く親の姿を見る会」が行われ、参加された子どもさんから感想をいただきましたので、簡潔にご紹介します。

「母親のがんばっている姿を近くで見ることができ、とても勉強になったので、時間があればまた行きたいです。」

この子どもさんは、元々ボランティアに興味があり、母親が働いている職場を見学するために参加されたそうです。今後、学校の休みの日にボランティアに来ていただけるとのことで、ボランティアを通して、福祉分野に興味を持っていただけたらと思います。

（渡邊憲）

より良い生活を目指しての取り組み

～ケアハウス　カサ デ ローザ～

ケアハウス カサ デ ローザでは、自治会が中心となってご利用者自身の生活をより良くする為の取り組みを行っています。

その中で、クラブ活動を増やすことで生き甲斐作りや楽しみを増やしたいという声があがりました。

そこで九月より新たなクラブ活動として、さわらび会評議員佐藤佳子様によるコーラスクラブ、伊藤民謡会大中紅謡様による民謡クラブ、並びに珠藻荘眞河施設長による書道教室を実施することになりました。

毎日の生活が楽しく、そして充実したものとなるように、これからも取り組んで行きたいと考えています。

（東郡）

豊橋中央高校演劇部演劇会

～特別養護老人ホーム　第二さわらび荘～

第二さわらび荘ではふれあいホールを地域の方やボランティアの皆様に開放し、様々な活動にご利用いただいています。

去る八月三十一日に豊橋中央高校演劇部の皆さんにお越しいただき、ふれあいホールで演劇会を行っていただきました。

当日は福祉村敷地内の施設やさわらび会の関連施設より八十名のご利用者様、職員が来荘し、大変楽しい時間を過ごすことができました。

豊橋中央高校演劇部の皆様には、毎年お越しいただき、毎回趣向を凝らした演劇を披露していただいています。

これからも楽しみにしていますのでよろしくお願い致します。

（東郡）

誌上作品展

今月寄せられた利用者の作品です

生活・介護支援サポーター養成研修

～さわらび地域包括支援センター～

八月十七日に「生活・介護支援サポーター養成研修」の講師打ち合わせ会が行われました。

生活・介護支援サポーターは、お一人で生活されている高齢者のご自宅を訪問し、お話相手やちょっとしたお手伝いを行う、有償のボランティアになり、研修の修了と登録が必要となります。研修の中では、民生委員や元老人クラブ会長など、地域で活躍をされている方が講師となっていただき、傾聴の大切さや地域での活動など様々な内容の講義を行っていただきます。

今後も、住み慣れた地域でいつまでも生活が送れるようなお手伝いをしていきたいと思います。

（勝山）

いきいきフェスタ2012 障害者アート展で創作活動の実演

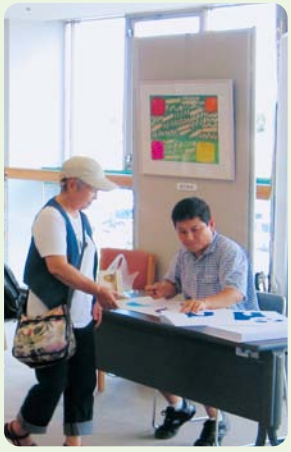
～障害福祉サービス事業所　明日香～

市民福祉の日を記念して毎年行われている「いきいきフェスタ」が八月十九日にライフポートで開催され、明日香利用者の服部憲政さんが、障害者アート展のコーナーで実演者として参加されました。

このコーナーは、障害を持った方のアートを皆さんに知っていただくために行われ、作品の展示や実際の創作活動の様子を多くの方に見ていただく機会となりました。

障害者アートは、以前に比べるとだいぶ知られるようになってきましたが、まだまだ知らない方も多くいます。このような機会を通じて、多くの方に障害者アートのすばらしさを知っていただければと思います。

（鈴木）



緊急時も冷静に、適切な対応を

～初級救急救命講習実施～

～障害者支援施設　あかね荘～

利用者の方に万が一の事故や病気等の救急対応が必要になった時、冷静に適切な行動が取れるようにと、初級救急救命講習を実施しました。

講習を担当してくださった豊橋南消防署の署員の方から「毎年研修を実施している成果がでています。」と褒めていただきました。

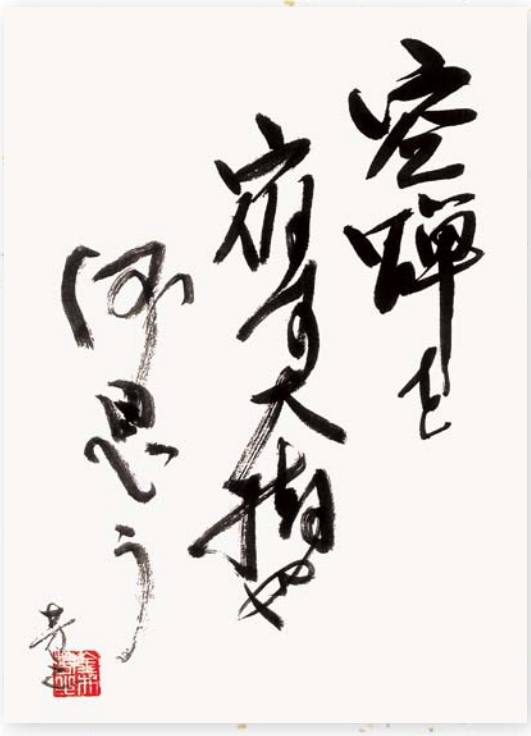
参加した職員からは、あかね荘の利用者の方に起こりやすい事故や病気についての具体的な対応について質問が出ており、充実した講習となりました。

（高橋）

俳句浪漫

直筆の書で季節を彩る

ジュゲム施設長　金井 芳之



空蝉を　宿す大樹や　何時思う

一年かけて地上に出た蝉の幼虫は危険を避けて朝方まだ暗いうちに羽化するという。場所は地上に這い出て最短の樹木で、地上から出来るだけ高い処で羽化するらしい。この夏、福祉村のキャンパスで偶然に空蝉を見つけた。空蝉が恰も生き物の如く留まっていた樹木は直径五十センチほどのケヤキの木、その位置は地上三メートルあたりであったと思う。蝉が抜け去った後もあんなに旨く幹に留まる事が出来るのか不思議に思った。それから二週間経っても空蝉は同じ場所に留まったままであった。この空蝉を宿したケヤキの幹は、それを知る由もないとひとは思うのだが、果たしてどうであろうか？空蝉を残して去った成虫は今何処…

Vol.55
relay column
さわらび会のわ

若菜荘　栄養士
宮脇 優子

文章を書くということがこんなにも思い悩む事とは思わなかった。何故なのかしらとまた悩む。常日頃文字に触れていないわけでもないのに…。

脳の感性の部分が欠如してでもいるように何も思い浮かばない。

ひねり出した揚句、さわらび会に入職した当時小学二年生だった長女が結婚し、二児の母になった事を書こうか、唯一の趣味のスポーツのバトミントンの事を書こうかなどと書き出してみるものの先が続かない。自らの語彙力の無さになさけないやら…。

よくよく考えてみると毎日の生活がルーティンワークになっていて、多少の変化はあるものの、脳を喜ばせるような事がないのです。何か強い感情だったり興味だったりという事が周囲の人を観るにつけてもないのです。人並みにドラマやドキュメンタリーをみて涙する心は持っていてもそれ以上に熱くなれないのは何だろう。と御託を並べる始末です。

脳の若さが欲しいようと言い出すあたり私はかなりの皮肉屋なのだと気付いた次第であります。

何だかんだでここまで辿り着いてホッとしています。以上散文にて失礼しました。

次回は、福祉村病院　事務長　小川喜靖さんです。

第75回

いかり先生の“お遍路さん”

―四国八十八ヶ所霊場めぐり―

●真っ赤な納経帳

福祉村病院 副院長　伊苅 弘之

第八十四番屋島寺から第八十五番五剣山八栗寺まで八キロ、徒歩で二時間、車で二十分。

八栗寺まではケーブルに乗る。急な坂を上る電車のような乗り物だ。「すごい急な坂だね」子供たちは嬉しそうだ。五分ほどで山頂駅に着いた。仁王門をくぐると本堂が正面に、その後ろには剣のような山があった。標高三七五メートルの五剣山の南腹にある八栗寺からは目の前に五剣山の四つの峰が見える。昔は五つの峰をもつ山だったが、一七〇六年の大地震で崩れて現在のような四つの峰となった。

弘法大師が虚空蔵求聞持法を修しているときに五柄の利剣が虚空より降ってきた。そして蔵王権現が現れて「この山は仏教にふさわしい霊地である」と告げたため、その剣をこの山に埋めて山の鎮護として五剣山と名づけ、山頂からは八か国（現在の中国・四国地方）が見えるため八国寺としたとされる。その後、大師が入唐前に植えた八個の焼き栗が、帰国後ことごとく生長繁茂していたので八栗寺に改めたとされる。

納経所で御朱印をいただいていると、すぐ後ろに細身の遍路らしくない普通の身なりの六十歳くらいの男性が立っていた。「お久しぶりですね。お会いするのは何回目ですかね」母と家内に話しかけた。「そうですね、三回目、いや四回目ですか」と家内。「そのくらいでしたか。もっとたくさんお会いしたように思いました」とその男性。私はよく覚えていないというか、話をしたことが無かったが、母と家内は何度か納経所で御朱印をもらうときに話をしたという。どこで会ったかまでは記憶にないが、納経帳が印象的だったらしい。何度も四国巡礼をされているらしく、その男性の納経帳は真っ赤になっていた。四国巡礼では二回目以降の巡礼では、その寺のページの上に赤い印だけをハンコで押してもらう慣例になっている。何度も訪れたらハンコを重ねて押してもらうので真っ赤になるのだ。

最初にその男性に会った時は一〇番札所より前だったらしい。その時には五回目の巡礼ということだったが、今回はちょうど二十五回目だという。われわれは三年以上かけてやっと一回目の巡礼が終わろうとしているのに、三年間で二十回も四国八十八か所を巡礼できるのだろうか。何度もその男性に会ったという事実も不思議だが、その男性の納経帳は確かに二十を超える御朱印で真っ赤になっていた。

平成二十四年度 障害者雇用支援月間ポスター原画募集 高齢・障害・求職者雇用支援機構 理事長奨励賞（高校・一般の部）受賞

平木場郁央さん

（明日香利用者）

独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構が主催する障害者雇用への理解と関心を深めるポスターの原画募集で明日香利用者の平木場郁央さんの絵画（今月号表紙）が入賞しました。

今回の絵画は、明日香での余暇活動の時間を利用して描きあげられました。今後もより良い作品が生まれるよう支援していきます。（末松）

◆病院・ジュゲム

- 8月9日　さわらび大学「認知症について」さわらび会理事長山本孝之
- 10日　「働く親の姿を見る会」さわらび荘にて、理事長出席
- 11日　夏休み親子福祉体験理事長出席
- 13日　施設長会議（理事長出席）
- 14日　ジュゲム幹部会
- 15日　医療法人さわらび会開院記念日
  名古屋市認知症実践者研修会(ウイル愛知)にて伊苅弘之副院長が「認知症の医学的理解」について講義
- 17日　福祉村合同慰霊祭
  病院幹部会（理事長出席）
- 21日　感染対策委員会
- 22日　豊橋市社会福祉協議会主催の認知症座談会（あいトピア）にて伊苅弘之副院長が助言
- 23日　橋詰先生によるCPC（理事長出席）
  テーマ別研修「職場研修担当者研修」
- 24日　朝食情報交換会
  医療法人さわらび会防災訓練
- 27日　早蕨編集会議（理事長出席）
  豊橋創造大学看護学部総合看護論実習受け入れ4名（～9月6日）
- 28日　医療法人職員全員写真撮影
  東三河神経病理カンファランス
  医療安全委員会
- 29日　豊川市主催の認知症一般市民向け講演会（豊川市勤労福祉会館）にて伊苅弘之副院長が「認知症の人の理解と付き合い方」について講演
- 30日　さわらび会施設間ナース合同会議
- 9月1日　長崎県社会福祉協議会主催の介護スタッフ向け研修会(長崎ブリックホール・長崎市)にて伊苅弘之副院長が「具体的な症例で学ぶ医学基礎」について講義
- 4日　さわらび荘敬老会理事長出席
  「3G血圧計説明会」オムロンコーリン株式会社
- 5日　ジュゲム家族会

◆さわらび荘

- 8月8日　愛介連東三河ブロック役員（施設長・白井秀・日下部　あいトピア）
  市介護認定審査会（施設長　市役所）
- 9日　介護保険指定事業者講習会（藤原・渡邊憲・白井有・白井秀・日下部　公会堂）
- 10日　働く親の姿を見る会
- 17日　生活・介護支援サポーター養成研修講師打ち合せ（施設長・松下・勝山　牛川校区市民館）
- 21日　全老協戦略セミナー（施設長　東京　～22日）
  ケアマネ部会（白井秀　名古屋）
- 23日　愛老協事務員研修（金田　名古屋）
- 27日　西口住宅シルバーハウジング入居者説明会及び業務打ち合せ（施設長・安江・藤原・勝山　西口住宅）
- 28日　豊老協総会（施設長　第二さわらび荘）
  防火管理者研修（渡邊憲・島本　ライフポートとよはし　～29日）
- 29日　交通安全教室（常盤）
- 9月4日　さわらび荘・常盤・白珠敬老会
- 5日　市介護認定審査会（施設長　市役所）

◆第二さわらび荘・カサ デ ローザ

- 8月7日　公益社団法人全国老人福祉施設協議会正副会長委員長会議（施設長　東京）
- 8日　愛知県居宅介護支援事業者連絡協議会
  東三河ブロック役員会(施設長　豊橋市)
  サービス付高齢者住宅会議（施設長・長坂　カサ ブランカ）
  岡崎市民生委員第二さわらび荘見学
- 9日　豊橋市事業者講習会（長坂・野崎・東郡）
- 16日　認定審査会（長坂　市役所）
- 17日　第二さわらび荘夏祭り
- 21日　公益社団法人全国老人福祉施設協議会戦略セミナー（施設長　東京　～22日）
- 23日　サービス付高齢者住宅会議（施設長・長坂　カサ ブランカ）
- 24日　愛老協福祉人材対策委員会（施設長　名古屋）
- 28日　豊老協総会（施設長・長坂　第二さわらび荘）
- 30日　愛知県老人福祉施設協議会役員会・介護保険事業経営委員会（施設長　名古屋）
- 31日　豊橋中央高校演劇部演劇会
- 9月3日　サービス付高齢者住宅会議（施設長・長坂　カサ ブランカ）
- 5日　豊橋市長寿介護課カサ ブランカ見学

◆若菜荘

- 8月10日　福祉村公園清掃
- 22日　全国老施協　居宅型施設（軽費・ケアハウス）全国セミナー（施設長　東京　～23日）
  豊橋技術科学大学　研究協力
- 27日　愛老協会計研修（斎藤　名古屋）
- 28日　豊老協総会（施設長　第二さわらび荘）
  野依健康教室　講師小橋修院長先生（施設長　野依校区市民館）
- 30日　荘内勉強会「リハビリ体操」（鍼灸師榾山先生）
- 31日　荘内勉強会「水消火器演習」（石田）
- 9月3日　各階別会議
- 5日　全軽協東海北陸ブロック施設長　職員研修会（施設長・山田　福井県　～6日）

◆珠藻荘

- 8月9日　相談支援従事者研修講師（松井伸　名古屋）
- 10日　身体障害者療護施設長会（施設長　名古屋）
- 15日　自治会役員会
- 19日　いきいきフェスタ
- 20日　愛知県立大学社会福祉士実習生受け入れ1名（～9月4日）
  中部福祉専門学校介護福祉士実習生受け入れ3名（～9月21日）
- 22日　自治会
- 24日　愛知県身体障害者療護施設長会及び拡大生活向上委員会（施設長　名古屋）
- 28日　全国身体障害者施設協議会研究大会（城所・桜井・松井紀　札幌　～29日）

◆あかね荘

- 8月8日　救命救急講習（27日）
  いきいきフェスタ企画委員会（あいトピア）
  自立支援協議会　相談支援専門部会　連絡会（石川・鈴木巳・木村）
- 9日　相談支援現任研修（鈴木正　愛知県自治センター）
  知的障害者テニス協会　役員会(鈴木巳)
- 10日　田原障害者支援センター　図工教室（17日）
- 11日　知的障害者テニス協会　練習日（石川26日）
- 14日　田原市自立支援協議会　運営会議（森福祉センター）
- 16日　中部福祉専門学校実習生受け入れ1名（～9月5日）
- 17日　東三河SW研究会（石川）
- 18日　語りべの会
- 19日　いきいきフェスタ（語りべの会発表）
  田原障害者支援センター　調理教室
- 20日　明星大学実習生受け入れ1名（～24日）
  権利擁護研修（中陳　名古屋）
- 21日　地域支援事業所会議
  自立支援協議会　虐待法準備委員会（石川）
- 22日　自立支援協議会　大規模震災時安否確認会議（鈴木巳）
  誕生日会
- 24日　田原障害者支援センター豊橋養護教員見学（43名）
  自立支援協議会　就労支援専門部会（鈴木巳）
- 25日　地域活動支援センター　なのはな　外出支援（鳥羽水族館）
- 27日　職場研修「知的障害者の障がい特性について」
  木藤会計来荘
- 28日　田原市自立支援協議会　事務局会議（鈴木正　福祉センター）
- 29日　初任者研修（木村　～31日）
- 9月1日　ASK研修（石川）
- 3日　明星大学実習生受け入れ1名（～7日）
- 4日　権利擁護研修（村越・高橋　名古屋）

◆明日香

- 8月6日　豊橋商業高校ボランティア受け入れ6名
- 10日　自治会
  工賃日支給日
  JAあぐりパーク食彩村試食販売
- 13日　利用者夏休み（～15日）
- 17日　主任会議
- 19日　いきいきフェスタにて販売（ライフポートとよはし）
- 22日　三谷水産高校教職員職場体験実習受け入れ1名（～24日）
- 23日　ケース会議
- 24日　JAあぐりパーク食彩村試食販売
  東三河セルプ施設長会議（施設長　サポートくすの木）
- 25日　クラブ活動日
- 27日　新会計基準への移行セミナー（藤井陽　名古屋）
- 29日　自立支援協議会就労支援部会 工賃アップ会議（末松　あいトピア）
- 31日　職員勉強会
- 9月3日　販売促進会議
- 4日　防災訓練
- 5日　障害児等療育支援事業研修（村松　岩崎学園）

◆しろがね

- 8月6日　TFM合唱団来荘
- 20日　TFM合唱団来荘
- 9月4日　防災訓練

◆各施設共通

- 8月6日　障害者担当会議
- 7日　福祉村クリーン運動
- 9日　さわらび大学
- 11日　夏休み親子福祉体験講座
- 13日　施設長会議
- 16日　在宅医療福祉部会
- 17日　合同慰霊祭
- 20日　野依校区地域懇談会
- 21日　ホームヘルパー養成講座開講
- 24日　朝食情報交換会

さわらび会後援会寄附ご芳名

平成24年8月6日～9月5日

50,000円
10,000円
10,000円
5,000円
10,000円
10,000円
10,000円
5,000円
5,000円
1,000円
10,000円
10,000円
10,000円
10,000円
10,000円
10,000円
10,000円
10,000円
10,000円
3,000円

その他匿名希望多数の方よりご寄附いただきました。

計　209,000円

現在までにご寄附いただきました金額は

844,467,979円

●福祉用具紹介のコーナー

一枚二役の車椅子用クッション

「BesPo（ベスポ） GEL（ジェル） CUSHION（クッション）」

ヘキサジェルとウレタンフォーム二層構造により、座った時の沈み込み具合を変え2つの用途を可能にしています。クッションの前後の向きを変えるだけで、足こぎがしやすくなったり、座位姿勢が安定したりします。

※要介護2以上の方なら車椅子と合わせてのレンタルが可能です。レンタル事業所により価格は異なりますのでお問い合わせ下さい。

問い合わせ先

福祉村指定居宅介護支援事業所　☎46-3566
さわらび指定居宅介護支援事業所　☎54-7377
福祉村病院訪問看護部　☎46-7511㈹
福祉サービス株式会社　☎66-1011
（福祉村地域包括支援センター　居澤）

敬老会

2012年度

さわらび大学について

☆参加費無料でどなたでも受講できます。

10月11日(木)　感染症について

講師◎福祉村病院
小橋 修　院長

時間●**午後3時～**
会場●**カサ ブランカ　カトレアホール**
住所：豊橋市三ノ輪町字本興寺3−60
※バス停「殿田橋」前

お問い合わせ、受講申込み●障害者支援施設あかね荘
TEL0532-48-2825　FAX0532-48-2367

お礼コーナー　ありがとうございました

※は豊橋善意銀行を通して

▼株式会社光陽　代表取締役社長　八木秀治様
冷凍うどん寄贈※（さわらび荘・珠藻荘・第二さわらび荘）

第31回
さわらび文化祭

テーマ

『みんなの笑顔　みんなの幸せ』

毎年たくさんの方にご来場いただいております「さわらび文化祭」を今年度も開催いたします。子どもも大人も楽しめる「みんなの笑顔」あふれる企画が満載です!皆様のご来場、心よりお待ちしております。

開催日　平成24年11月3日㊏㊗
午前10時～午後4時

場所
福祉村（豊橋市野依町字山中19）

主な企画　内容に変更が出る場合がございます。詳細は主催者にお問い合わせ下さい。

- ◉野外ステージ
- ◉エコ・節約アイデア展
- ◉秋陽展
- ◉福祉ロボット展
- ◉医療法人さわらび会50周年パネル展
- ◉防災対策展示・体験
- ◉各種模擬店　など

昨年の文化祭ステージ発表

文化祭のお問い合わせ　障害者支援施設　珠藻荘　☎(0532)47-1050

編集後記

昭和三十九年の東京オリンピックから今年で四十八年。体育の日は平成十二年からは十月第二月曜日となりましたが、年女の私は十月十日イコール体育の日で育ってきた世代です。地元豊橋市の小・中学校は前期・後期制となり運動会は春に行う学校が多くなりました。「世界中の青空を全部持ってきてしまったような、素晴らしい秋日和」の運動会が減ってゆくのは少し寂しい気がいたします。

さて、今号の特集は大規模災害発生時におけるさわらび会の対応です。職員向けの内容も含まれていますが、ここに掲載した参考資料、地震・津波の心得、またYouTubeの映像等で、「その時どの様に身を守るか」をお考えいただければ幸いです。ちなみに福祉村の海抜はヘリポート約12m、バス停約17m、保育園前約28m、病院入口交差点約26m、郵便局前交差点約40m（豊橋市都市計画用途地域図より引用）。三河湾から10m超の津波が梅田川を遡上しなければ大丈夫そうです。（谷）

【表紙絵】「魚市場」平木場郁央（明日香利用者）

- 特別養護老人ホーム　さわらび荘　☎(0532)54-3501　法人本部　豊橋市浪ノ上町7-2
- グループホーム白珠　☎(0532)66-0082
- 地域密着型サービス事業所　常盤　☎(0532)62-3370
- 特別養護老人ホーム　第二さわらび荘
- ケアハウス　カサ　デ　ローザ　☎(0532)37-1209
- 特別養護老人ホーム　カサ　ブランカ　☎(0532)69-1701
- 地域密着型サービス事業所　カサ　デ　ヴェルデ　☎(0532)23-5552
- 軽費老人ホーム　若菜荘　☎(0532)48-1138
- 障害者支援施設　珠藻荘　☎(0532)47-1050
- 障害者支援施設　あかね荘　☎(0532)48-2825
- 障害者福祉サービス事業所　明日香　☎(0532)46-6579
- 福祉村障害福祉サービス事業所　しろがね　☎(0532)48-1032
- 福祉村病院　☎(0532)46-7511
- 福祉村老人保健施設　ジュゲム　☎(0532)46-7501
- 福祉コンビニ（東雲町）　☎(0532)69-5666
- 第二福祉コンビニ弥生　☎(0532)38-9090
- 第三福祉コンビニ赤羽根　☎(0531)45-3828

充実した医療と福祉　みんなの力で　みんなの幸せを
社会福祉法人　医療法人　さわらび会
理事長　山本　孝之

さわらび　sawarabi
2012年10月1日発行　早蕨　第474号　毎月1日発行
（昭和62年2月21日第三種郵便物認可）
編集責任者●谷さゆり　印刷●共和印刷㈱　定価●100円